



学校だより



11月号

令和6年10月31日
江戸川区立瑞江小学校

秋高し 雲より上を 鳥かける (子規)

校長 牧岡 優美子

正岡子規が詠んだこの句のように、秋は乾燥して透明度が高く、雲も高いところになります。空が一層高くなり、悠々と飛ぶ鳥の姿には、秋のさわやかさを感じます。あの猛暑が嘘だったように、最近朝晩めっきり涼しくなり「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」「読書の秋」、何をするにも心地よい季節になりました。いろいろなことに集中できる秋、頑張り努力したことが、冬を越し、春に花開くと言われています。

学校では、先月からふれあい給食、体育大会、生活科見学、社会科見学と、学校外の方々と関わる行事が続いています。この先は日光移動教室もあり、学びの場は大きく広がります。自分の役割を果たし、多様な他者と関わり、つながり、協働する力を養う機会でもあります。大きな行事を経験するたびに、子どもたちは大きく成長します。

また外部人材活用として、出前授業も続いています。自転車安全教室、イングリッシュキャラバン、プロジェクトマップ体験など、専門家や企業の方にお問い合わせしました。来月は、高学年にドローン操縦体験の授業も予定しています。机上だけの学習でなく、できるだけ実社会に活用できる、未来を見据えた教育活動をしていきたいと考えています。中でも情報・プログラミング学習は、高校生になったら必修科目です。既に生活の中には様々なプログラミングが設置されていて「お風呂が沸きました」と知らせてくれる時代です。

教育の中に、生成AIを取り入れる学校も増えてきました。子どもたちが生成AIを使うと、自分の頭で考えなくなるのではないかという懸念も出ています。とはいえ、時代は速度を増して進んでおり、今後も止まらないのは事実です。ならば、システムを適切に活用し、創造性を広げたり思考を深めたりして、よりよい使い方を志向する力を身に付けさせたいと考えています。子どもの脳は、知りたがりです。新しいことを見つけては「何?」「どうして?」「知りたい」と反応します。この「知りたい」という意欲が、一番のチャンスです。脳の神経シナプスは、よく使う道は太く頑強に、あまり使わない道は壊して脳の働きを効率化するそうです。

また先日来、地区の会議で「SNSトラブル」についての議題が頻繁に挙げられています。ネット上で使うことを考え、安全のために個人情報、重要情報は入力しないこと、ゲームの過剰な課金など、安全に活用する情報リテラシーが大切です。相手の気持ちを傷付けるメールを送るトラブルもあります。話し方や態度、表情も分からず、文字だけが送られる危うさがあり、送った後にどうなるのかという想像力が重要です。家庭、地域、学校で見守っていきたいと思います。

今月は音楽学習発表会があります。子どもたちの学習の成果を、どうぞ一緒に楽しんでください。お待ちしております。

